

40号

# よこすか育成通信

2026年3月31日発行  
題字：上地克明市長

## 第18回中学校対抗ウォークラリー

防大キャンパスから観音崎の照葉樹の森を抜けて、磯の香り漂う走水の海辺へ

参加チーム募集  
申込者は各中学校区育成推進員へ

12月14日(日) 9:30~13:00  
馬堀中学校 9:00 受付開始

※動きやすい服装と靴で、飲物、筆記具。  
※軽食(パン)を用意いたします。飲物はご持参ください。  
小雨決行。雨天時は当日朝7:00より  
横須賀市コールセンター822-4000で確認できます。  
主催：横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

馬堀地区には、国防の要となる人材を送り出す防衛大学校キャンパス、東京湾要塞に守られた、原生林に近い照葉樹林、記紀に登場する伝説的英雄日本武尊の妃弟橘媛を祀る走水神社、日本近代工業の礎となった官

### 総合成績

優勝：池上 A

準優勝：北下浦 A

3位：野比 A

### チームコメント

#### 池上 A

1人1人全力を出すことで優勝できた。地域の歴史をクイズを通じて知ることができた。

#### 北下浦 A

チーム皆で楽しむことができた。ゲームは難しかったが楽しいものばかりだった、クイズは難しかった。

#### 野比 A

全てゲームを丁寧に行い3位入賞できた。ゲームは運動が苦手でも楽しめるものだった。クイズは難しかったが自分の住む町について知ろうと思うきっかけになった。

# 第18回中学校対抗ウォークラリー 12月14日 馬堀中学校周辺地域16校27チーム

## 見どころ満載 準備編

営横須賀製鉄所を支え現在も当時と変わりなく良質な水道水を供給し続ける走水水源地など、知ってほしい、見てもらいたい施設や風景があり、それらを参加する中学生に郷土の歴史として記憶に留めてもらうためには、どのようなコースにすればよいのか、馬堀中学校区の担当者は下見と検討を重ねるとともに、立ち入りに制限のある防衛大学校、会場となる馬堀中学校とも調整を重ね、開催に漕ぎ着けることができました。

(馬堀・桑原 一也)

## 当日編

### あいにくの雨

12月14日馬堀中学校で参加16校、生徒27チーム108名、引率者、防衛大学生、スタッフ、市職員総勢約200



探せ：野比 A

名で開催しました。今年の大会は雨と10度以下の寒さのため、メイン競技であるウォークが中止となり、体育館内で、四択クイズ(馬堀地域に因んだ歴史や文化等について)とゲーム【探せ・飛ばせ・転がせ】探せ(宝探し・チーム5名が約20メートル離れた所に置いたガチャガチャのカプセルを拾い1〜4点の合計点)飛ばせ(スリッパ飛ばし)転がせ(サッカーボールを転がして得点枠内に止める)の4つの競技で競いました。生徒たちは、元気に楽しんで、良い思い出になったと思います。

(池上 番場 清隆)



転がせ：野比 A

## 雨上がり

当日はあいにくの冷たい雨となり、自慢のウォークラリーコースを歩いてもらうことができず、スタッフとしては残念な気持ちでいっぱいでしたが、ゲームに興じる姿、クイズに取り組む真剣な横顔、余ったパンの争奪ジャンケンの盛り上がりなど、中学生から元気を貰った気がしました。帰るころには朝の大雨も止み雨上がりの青い空のような清々しい気持ちで帰ることができました。

(馬堀・桑原 一也)



難しかったクイズ



飛ばせ：池上 A



来場者、STAFFを含め総勢4300人で開催

# わんぱくフェスティバル2025開催

緊張した中での  
ステージ発表

ステージではダンス(7)、吹奏楽(2)、けん玉(1)、フラダンス(1)など11の団体が出演しました。日頃の練習の成果を発揮し、会場と一体となった発表は大盛況でした。

友人や家族を客席に見つけて笑顔になる子、緊張した面持ちの子など、微笑ましいステージ発表でした。

司会進行は今年も県立保健福祉大学のボランティアサークル「アナコット」が務めました。

参加団体である馬堀中学校吹奏楽部の今回のステージでは、顧問の先生の知り合いなどを含めた混成チームで、事前の音合わせもほぼなく本番一発勝負とのこと。そうは思えない素晴らしい演奏でした。

また、県立保健福祉大学吹奏



子どもたちに喜ばれた  
校内スタンプラリー



当日は甘いチョコレートの香りが漂うブースに長い列ができました。たくさんの子どもたちが順番を待ちながら、「早く食べたい!」、「チョコがたっぷりなのがいいな」とわくわくした表情で話し合う様子はとても微笑ましい光景でした。



長蛇の列ができた  
チョコバナナ販売

いずれのサークルも、ミスを恐れず演奏を楽しむことを心掛けているところが共通していました。

(久里浜・石井良)

チョコバナナを受け取った子どもたちは、目を輝かせながら「チョコがツヤツヤしておいしいそう!」と口々に嬉しそうに声をあげていました。ひと口食べた瞬間には、「これ、今まで食べた中で一番おいしい!」と満面の笑みを見せてくれて、スタッフも思わず笑顔になりました。今回も子どもから大人まで幅広い世代に大好評。

今後も、子どもたちが自然と笑顔になるようなイベントを継続していければと思います。

(浦賀・松田伸一)

飛ぶかな、  
紙飛行機づくり

紙飛行機ブースは、開催後30分ぐらいして多数の子どもたちが来てくれました。「どんな飛行機がいいですか?」「簡単な飛行機でよく飛ぶ飛行機がいい」と大半の子どもが答え、一緒に教えながら紙飛行機を作りしました。

男の子は作るとすぐ飛ばし、女の子はいろいろな色で夢中になってお絵かきをしていました。



子どもの目線で会話をして、一緒に作り、飛行機の飛ばし方を教えたりすることで交流が生まれ今年もやって良かったと感じました。

(馬堀・重久公男  
岩戸・飯田功)

百発百中  
射的コーナー

うまい棒を狙って撃ち落とすことを楽しんだ子どもたちで大賑わい。スタッフも銃の構えかたの指導でなんてこ舞い、汗だくで休憩時間も取らずに子どもたちと一体となって楽しみ、心が通えた一日でした。

(射的スタッフ談)



初のプラネタリウム開催  
子どもたちの人気の的となりました



9月20日 総合福祉会館の調理実習室にてチョコバナナ講習会を開催しました。  
当日は14名の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。  
突発的なイベントでしたが、初めてチョコバナナを作り、部会を

### チョコバナナ講習会

超えての交流を楽しみました。

来年もまた開催して欲しいとお声もいただきましたので、推進員の交流イベントとして次年度に繋げていければと思います。  
(研修研究部会・小牧(優子))



### 非行防止キャンペーン



武山・長井・大楠中学校区は合同で、10月12日に大楠中学校グラウンドで行われた「大楠地区健民運動会」の昼休憩中に非行防止キャンペーンを行いました。  
生徒22名を含む42名で、のぼりや中学生が書いた非行防止ポスターを掲示しながら、キャンペーンのポケットティッシュを配って歩きました。400名あま



りの運動会参加者は「ありがたいと受け取ってくれました。  
西地区は駅がないので開催場所の選定に苦労していましたが、初めての健民運動会にお邪魔しての開催はいつもより効果の感じられる試みでした。  
(大楠・根岸(一康))

次の市内3か所他、11月16日に保健福祉大学でのわんぱくフェスティバルで中学生が描いた非行防止ポスターのパネル展示が行われました。



2025.10.27~31 横須賀市役所

横須賀市の非行防止ポスター募集のチラシです!

ヨコスカサマーチャレンジ2025  
~非行防止ポスター募集~  
テーマ「中学生が考える非行防止」



いじめ・暴力・間バイト  
飲酒・喫煙・薬物  
SNS・誹謗中傷など...

皆さんが考えるメッセージあるポスターを募集します!

#### 募集要項

- ・ポスターのサイズ: 八つ切(380mm×270mm)またはB4の画用紙
- ・ポスターの向きは縦横自由
- ・使用画材: 自由(絵具・パステル・色鉛筆等)
- ・チラシの応募票に、題名(タイトル)・学校名・学年・名前(名前表示の希望「あり」「なし」を記入して)を書いて、ポスターの裏面に貼ってください。
- (展示等の際、「なし」または記載のない方は、名前を表示しません)
- ・学校のメ切を守って、先生に提出してください。

応募者には参加賞、入選者には薄謝を進呈します。  
募集した作品は、パネル展示や青少年育成推進員の様々な活動、展示で活用させていただきます。

〇問合せ先:横須賀市子育て支援課 824-5377



2025.11.6~12.26  
横須賀警察署



2026.1.26~2.4  
コースカバイサイドストアーズ

## 非行防止ポスター展



## 活動体験発表会

2月14日に青少年会館で活動体験発表会が開催されました。今年度は長沢と武山の二中学校区の発表が行われました。発表会は各地区の活動の特色を理解・共有することを目的とし、武山中学校区では「子ども組織」のような効果的な取り組みを発表し、長沢中学校区では土地柄を活かしたイベントを発表しました。

今回は発表する側として準備は大変でしたが作業を進める中で、メンバーと活動について振り返りや意見交換ができ、お互いの理解と信頼関係が深まりました。

(長沢・宮島 政人)



## 令和7年度 神奈川県 青少年指導員表彰 11月29日



木村 詔子さん  
追浜中学校区

辻 嘉之さん  
大津中学校区

## 令和7年度 神奈川県青少年 育成活動推進者表彰 2月14日 令和7年度 横須賀市市民表彰 2月15日



岡田 安司さん  
神明中学校区

## 20周年記念講演

体験発表会終了後、題名「19世紀の横須賀」講師 山本 詔一氏 による講演を行いました。

横須賀の近代化の流れを聞き、「なるほど、そうなんだ」とうなずきながら歴史の重さを感じました。

その中で、西洋時計による労働時間の統一、日曜日休、月給制度などは、日本のどこよりも横須賀がいち早く採用したものと、はじめて知りました。



この講演で知った

先進的な横須賀の魅力、力、会話の糸口として青少年活動に役立させて行きたいと思っています。

(岩戸・飯田 功)

## ゆうやけこやけ

令和の暮らしでは、かつて耳にした餅つきの掛け声が遠のいています。昭和のまちでは正月に臼と杵の音が響き、子どもも大人も一体となって餅を搗(つ)きました。今では多くの家庭が既製品を買い、効率やコスパを優先しています。それも合理的ですが、餅つきには別の価値があります。蒸したもち米を「よいしょ」と声を合わせて搗くのは、互いの安全を守るためであり、同時に心を合わせる儀式でもあります。

町内会での餅つきは、普段は挨拶



撈程度の隣人と協力し合う場となり、地域の絆が深まります。手間はかかりますが、そこに生まれる一体感や温もりは、数字では測れない豊かさです。失われつつある年中行事を、改めて見直してみるのもいいですね。

(常葉・山本 光)

## 編集後記

よこすか育成通信は今回で40号となり、創刊から20年になります。近年の情報通信技術や印刷技術の進化は目覚ましいものがあり、広報紙の作成も20年前とは大きく変化しています。広報部会ではスマホによる原稿の共有を通しての査読、ネット印刷による費用の削減などを行っています。これからも新しい技

術を積極的に取り入れて効率化を図り、それによって生み出された時間を内容の充実に使っていかうと考えています。内容の充実については、インタビューなどを通して参加者目線の記事を意識することで、より臨場感のある広報紙を作成し、みなさまが読みたいと思われる「よこすか育成通信」を目指していきます。

(久里浜・石井 良)